

平成 24 年 2 月 15 日

各位

株式会社ルネサンス

平成 23 年度 横浜市地球温暖化対策実施状況報告書について

横浜市生活環境の保全に関する条例第 144 条第 3 項の規定により提出した平成 23 年度横浜市地球温暖化対策実施状況報告書を公表いたします。

以上

本件に関する問合せ先
総務部／03-5600-5329

地球温暖化対策実施状況報告書

平成23年 7月 29日

（報告先）
横浜市長

住所 東京都墨田区両国2-10-14
両国シティコア3階
株式会社ルネサンス
氏名 代表取締役社長執行役員 吉田 正昭

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	株式会社ルネサンス 代表取締役社長執行役員 吉田 正昭				
事業者の主たる 事業所の所在地	東京都墨田区両国2-10-14 両国シティコア3階				
主たる事業の業種	大分類	N 生活関連サービス業、娯楽業			
	中分類	80 娯楽業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	2,188	k l	自動車の台数	台

2 計画期間及び実施年度

計画期間	22年度～	24年度	実施年度	22年度
------	-------	------	------	------

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>■横浜市内の事業所においては、以下の会社方針の【1】大方針【2】基本方針を踏まえ、【3】計画の1.より取り組む。また、【4】の推進体制で実行していく。</p> <p>【1】大方針 ㈱ルネサンスは、環境にやさしいクラブ運営を心がけることにより地球温暖化防止に貢献します。</p> <p>【2】基本方針 全事業所で、エネルギーの合理化を推進することにより省エネルギーを実現します。</p> <p>【3】計画 1. 既存設備の特性を活かし、エネルギーロス無くす。 2. 高効率機器への更新。 3. 熱源システムの見直し。 4. グリーンエネルギーの活用。</p> <p>【4】推進体制</p> <p><重点対策> 1. エネルギーの合理化による地球温暖化対策の組織体制の確立。 2. エネルギー一元管理体制の構築。 3. 事業所ごとのエネルギー種別管理の構築。 4. 事業所ごとの管理担当者を設立。</p> <p><その他の対策> 5. 定期的にエネルギーの合理化の状況を把握。 6. 各エネルギー合理化策のPDCA管理。</p>

4 推進体制

● 2010. 10. 1付の推進体制は以下の通り

横浜市地球温暖化対策の推進体制	
2010. 10. 1付	
代表者	
代表取締役社長執行役員	
計画管理責任者	
取締役執行役員	
計画推進責任者(兼)技術管理者	
施設開発部 副部長 省エネルギー化推進チーム	
事業所名	責任者
港南中央	推進責任者(支配人)
天王町	推進責任者(支配人)
港南台	推進責任者(支配人)
Lite! 横浜	推進責任者(支配人)
横浜ランドマーク	推進責任者(支配人)

5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	http://www.s-rennaissance.co.jp/corp/IR/index.html
窓口で閲覧	閲覧場所	
	所在地	
	閲覧可能時間	
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (21年度)	基準排出量	3,739 t-CO ₂			基準原単位	2.70 t-CO ₂ /千利用
	調整後	3,280 t-CO ₂			目標原単位	2.67 t-CO ₂ /千利用
目標年度 (24年度)	目標排出量	3,706 t-CO ₂	削減率	0.8 %	削減率	1.1 %
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	<p>【基準年の排出量の特記】</p> <ul style="list-style-type: none"> 天王町店では、09.12改修工事で2週間休館⇒約29 t-CO₂が通常より少ない。 Lite!横浜店では、09.12に灯油から都市ガスの温水ヒーターに更新。 基準排出量的前提は5事業所（港南中央、天王町、港南台、Lite!横浜、ランドマーク） <p>【目標排出量の削減対策】</p> <p>①全5クラブのジム室温管理に外気冷房活用 ②天王町クラブのろ過循環にINV導入予定</p> <p>【原単位の特記】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標原単位を利用者数当たりとした根拠は、利用者数の増減によってエネルギー使用量が大きく変動する為。また単位面積当たりでは、営業促進と相反してしまうため。 					
事業者全体としての目標等	改正省エネ法に基づき、事業者として5年間で5%のエネルギーの合理化を目標としております。					
第一年度 (22年度)	排出量	3,766 t-CO ₂	削減率	▲ 0.8 %	排出原単位	2.87 t-CO ₂ /千利用
	調整後	3,264 t-CO ₂	削減率	0.4 %		削減率
目標等の達成状況及び説明	<p>【排出量】猛暑の夏場の影響を受けて増加。ただし、調整後排出量は、港南台クラブのコージェネレーションシステムの稼動もあり削減。</p> <p>【削減対策】天王町クラブのインバータ導入は23年度導入に延期</p> <p>【原単位】入館者数と温室効果ガスの排出量を掛け合わせた当社の原単位は、震災の影響もあり3月の1ヶ月間が、前年同月と比較し半減した。そのため原単位は悪化した。</p>					
第二年度 (年度)	排出量	t-CO ₂	削減率	100.0 %	排出原単位	t-CO ₂ /
	調整後	t-CO ₂	削減率	100.0 %		削減率
目標等の達成状況及び説明						
第三年度 (年度)	排出量	t-CO ₂	削減率	100.0 %	排出原単位	t-CO ₂ /
	調整後	t-CO ₂	削減率	100.0 %		削減率
目標等の達成状況及び説明						
計画期間全体の排出状況に関する説明						

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)
3,000k1以上	0	0	0					
1,500k1以上 3,000k1未満	0	0	0					
500k1以上 1,500k1未満	2	2,162	2	2,203				
500k1未満	3	1,577	3	1,563				
合計	5	3,739	5	3,766				

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9 重点対策の実施状況

		基準年度	第一年度	第二年度	第三年度	備考
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	実施中	実施済		5事業所 平成22年度に実施
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	実施中	実施中		5事業所 更新は2015年3月末計画を検討
	3	機器管理台帳の整備	実施中	実施中		5事業所 2012年3月末までに機器管理台帳を整備
	4	照明設備の運用管理	実施中	実施中		5事業所 2012年3月末までに照明機器表を基に実施
	5	エネルギー使用量の把握	未実施	実施中		2事業所 2012年3月末までに代表店の推計提出
	6	各種図面の整備	非該当			蒸気配管・圧縮空気の設備がない
	7	外気導入量の適正管理	実施済	実施済		2事業所
	8	フィルター等の清掃	実施中	実施中		2事業所、2012年3月末までに実施記録表を作成
	9	ポンプ、ファン及びブローアの適正な流量管理	実施中	実施中		2事業所、2012年3月末までに「流量一定」記載
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	非該当			変圧器はオーナー資産であるため
	11	室内温度の適正管理	実施中	実施中		5事業所、2012年3月末までに室温管理表作成
	12	地下駐車場の換気管理	非該当			地下駐車場はないため
	13	照明設備の高効率化	実施中	実施中		5事業所、2015年3月末までに効率化計画を検討
	14	事務所機器の待機電力管理	実施中	実施中		2事業所、2012年3月末までに運用開始
	15	機器性能管理	非該当			冷凍機・ボイラーがないため
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	非該当			冷凍機がないため
	17	燃焼設備の空気比管理	非該当			該当設備が無いため
	18	排出ガス温度の管理	非該当			該当設備が無いため
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	非該当			蒸気配管・圧縮空気の設備がないため
	20	工業炉表面の断熱強化	非該当			工業炉がないため
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	非該当			コンプレッサがないため
	22	コンプレッサの吸気管理	非該当			コンプレッサがないため
第3号該当事業者	23	推進体制の整備				
	24	自動車の適正な使用管理				
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理				
	26	エコドライブ推進体制の整備				
	27	自動車の適正な維持管理				

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

10 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1	ガスコージェネレーション	平成18年度	CP10VB 3台	4 t-CO2削減
2				(平成20年度)
3				
4				
5				

11 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	平成22年度	市内の全店舗	501 t-CO2	東京電力
2	高効率コジェネの利用	平成22年度	港南台クラブ	1.3 t-CO2	総合エネルギー効率59.3% 省エネ率10.7%
3					
4					
5					

12 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	
計画期間内に実施する対策	
第一年度実績	
第二年度実績	
第三年度実績	

13 実施状況等に対する自己評価

--

地球温暖化対策実施状況報告書

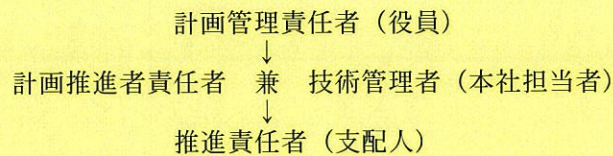
1 事業所等の概要

事業所等の名称	ルネサンス港南中央					
事業所等の所在地	神奈川県横浜市港南区港南中央通12-31 gooday place 3F					
事業所等の建物管理、エネルギー管理に関する状況等	延床面積	4,526	m ²	原油換算エネルギー使用量	639	k l
	事業所等の区分	商業施設		所有形態	賃借（テナント）	
	エネルギー管理権原	一部有り		使用形態	一部使用	

2 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

- ①外気冷房の活用による空調負荷の軽減。（重要度：高い）
 ②プールろ過循環のインバーターの効率的な活用。（重要度：低い）
 ・上記の選択理由：24時間運転のろ過ポンプ・モーターの節電は、費用対効果とエネルギーの合理化に伴う温室効果ガス削減に影響が大きい為。
 ・スケジュール：2011年上期を予定。

3 推進体制



細則第38号様式（第2条第49号）
（個別票）

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

基準年度 (21年度)	基準排出量	1,096 t-CO ₂			基準原単位	t-CO ₂ /
目標年度 (24年度)	目標排出量	t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	t-CO ₂ /
						削減率 %
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	港南中央店は、原油換算1,500kl未満なので目標はなし					
事業者全体としての目標等						
第一年度 (22年度)	排出量	1,111 t-CO ₂	削減率	(1.4) %	排出原単位	t-CO ₂ /
						削減率 %
目標等の達成状況及び説明						
第二年度 (年度)	排出量	t-CO ₂	削減率	100.0 %	排出原単位	t-CO ₂ /
						削減率 %
目標等の達成状況及び説明						
第三年度 (年度)	排出量	t-CO ₂	削減率	100.0 %	排出原単位	t-CO ₂ /
						削減率 %
目標等の達成状況及び説明						
計画期間全体の排出状況に関する説明						

地球温暖化対策実施状況報告書

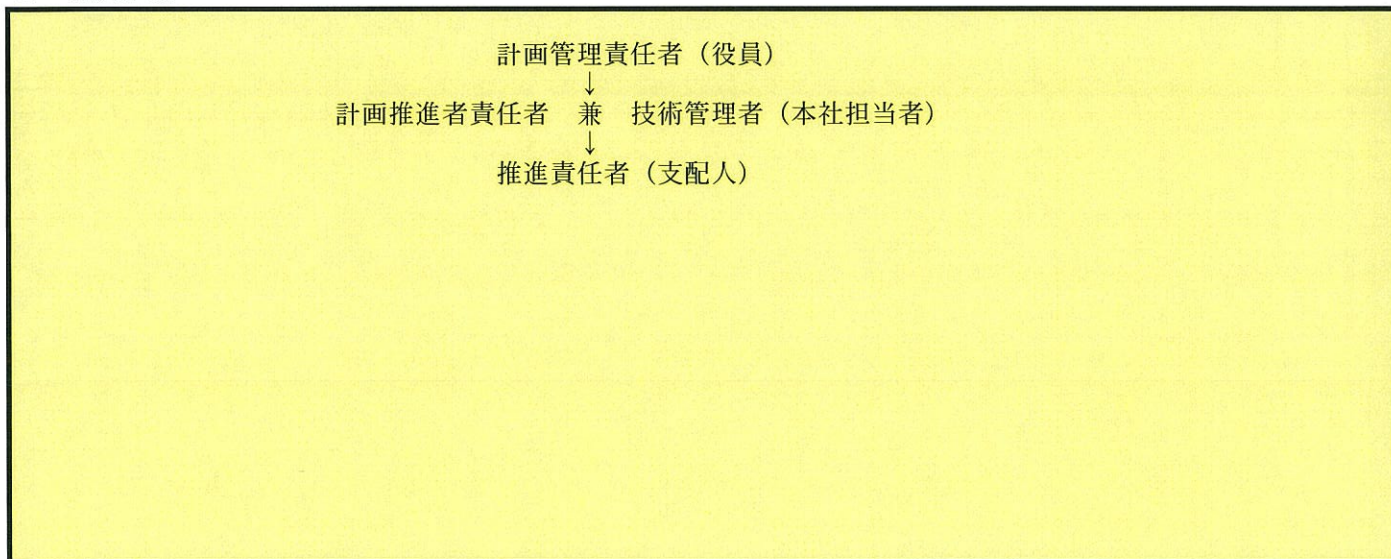
1 事業所等の概要

事業所等の名称	ルネサンス天王町					
事業所等の所在地	神奈川県横浜市保土ヶ谷区天王町2-45-12					
事業所等の建物管理、エネルギー管理に関する状況等	延床面積	6,535	㎡	原油換算エネルギー使用量	633	kl
	事業所等の区分	商業施設		所有形態	賃借（テナント）	
	エネルギー管理権原	一部有り		使用形態	一部使用	

2 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

- ①外気冷房の活用による空調負荷の軽減。（重要度：高い）
- ②エネルギー合理化、温室効果ガス削減につながる設備更新、付帯設備の導入については、経年劣化による空調機の部分更新として09.12に実施済み。
2011年4月 スパに、ろ過ポンプのインバーターを導入
- ③節電対策は節電シュミレーションの作成と電気のデマンド監視装置を活用して、節電に取り組む

3 推進体制



細則第38号様式（第2条第49号）
（個別票）

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

基準年度 (21年度)	基準排出量	1,066 t-CO ₂			基準原単位	t-CO ₂ /
目標年度 (24年度)	目標排出量	t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	t-CO ₂ /
						削減率 %
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	天王町店は原油換算1,500kl未満なので目標はなし。					
事業者全体としての目標等						
第一年度 (22年度)	排出量	1,092 t-CO ₂	削減率	(2.5) %	排出原単位	t-CO ₂ /
						削減率 %
目標等の達成状況及び説明						
第二年度 (年度)	排出量	t-CO ₂	削減率	100.0 %	排出原単位	t-CO ₂ /
						削減率 %
目標等の達成状況及び説明						
第三年度 (年度)	排出量	t-CO ₂	削減率	100.0 %	排出原単位	t-CO ₂ /
						削減率 %
目標等の達成状況及び説明						
計画期間全体の排出状況に関する説明						